

スペクトラム社、新たなフラッグシップとなる任意波形発生器を発表 帯域 3.9 GHz、出力レート 10 GS/s を実現

2025 年 6 月 4 日

デジタイザなどの計測機器メーカーであるスペクトラム・インスツルメンテーション社（本社ドイツ・グロースハンスドルフ/以下、スペクトラム社）は、このたび、高性能の任意波形発生器（AWG）4 モデルを発表しました。この新モデルの発表は、スペクトラム社の製品ポートフォリオにおいて重要なマイルストーンとなります。今回発表した新型 AWG は、無線周波数（RF）およびマイクロ波の信号生成などの高度な要件が求められる分野に最適で、最大 10 GS/s の出力レート、16-bit の高い垂直分解能、最大 3.9 GHz の帯域を実現します。本製品は無線通信、レーダーシステム開発、量子研究、航空宇宙試験などの最先端分野に従事するエンジニアや科学者向けに設計されています。

スペクトラム社の最高技術責任者（CTO）、Oliver Rovini は次のように述べています。「今回の新モデル発表は当社にとって飛躍的な一歩です。当社はついに高い周波数帯域の分野に参入し、品質と性能において、新たな基準を確立する製品ラインを展開します。この新型 AWG により、次世代のイノベーションを可能にするツールをお客様に提供いたします」

新しいフラッグシップである AWG は、最大 10 GB/s のストリーミング速度を実現する PCIe カードとして使用できるほか、Ethernet 経由で簡単に制御できるスタンドアローンの NETBOX ユニットとしても利用できます。これにより、ノート PC、デスクトップ PC、企業ネットワークに直接接続することが可能です。これらの新製品は自動試験システムへの組み込みに最適です。



PCIe および Ethernet/LXI フォームファクタで利用可能な新しいフラッグシップ AWG は、シングルチャネルまたはデュアルチャネルで、最大 10 GS/s の出力レート、16-bit の分解能、3.9 GHz の帯域を提供。

主な特長は次のとおりです。

- 超高速信号生成を可能にする最大 10 GS/s の出力レート
- 優れた信号忠実度を実現する 16-bit の垂直分解能
- 最大 3.9 GHz のアナログ帯域幅により、広帯域の RF 信号とマイクロ波信号を忠実に再現
- 最大出力振幅 4V のシングルエンド出力または差動出力
- マルチ出力にわたる複雑な信号のシミュレーションを実現するマルチチャネル同期
- チャンネルあたり最大 8 GSAMPLE のメモリを備えた柔軟性の高い波形生成を実現

上記の特長から、5G/6G 通信規格の試験、レーダーエコーのシミュレーション、実験物理学と量子システムの波形生成など、高品質の広帯域信号生成が求められる用途に最適です。

また、この新たな AWG は強力なハードウェアに加え、Windows および Linux 用のドライバ、C/C++、Python、MATLAB、LabVIEW などの言語に対応したプログラミングサンプル、対話型オペレーション対応ソフトウェア「SBench 6」など、スペクトラム社の包括的なソフトウェアスイートに対応しています。この新しいフラッグシップ AWG には、5 年間保証、ソフトウェアおよびファームウェアの生涯無償アップデート、スペクトラム社の設計エンジニアによる直接サポートが含まれています。

スペクトラム・インスツルメンテーション社(Spectrum Instrumentation)について

1989 年に創業したスペクトラム社(CEO 兼 創業者 Gisela Hassler)は、モジュラー設計を利用することでデジタイザ製品および波形発生器製品を PC カード (PCIe および PXIe) やスタンドアローンの Ethernet ユニット (LXI) として幅広く生み出しています。スペクトラム社は 35 年間に、トップブランドの業界リーダーやほとんどすべての一流大学を含む、世界中のお客様に製品をご利用いただいています。当社はドイツのハンブルク近郊に本社を構えており、5 年保証と設計エンジニアやローカルパートナーによる優れたサポートを提供しております。スペクトラム社の詳細については、<https://www.spectrum-instrumentation.com> をご確認ください。